

第 5 期 pES club シナリオ 1

平成 17 年 1 月 29 日
虎の門病院分院 内科総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巢医科大学附属病院泌尿器科の 3 年目後期研修医です。

週 1 回担当している外来に、如賀伝蔵さん（72 歳男性）が紹介状を持って受診しました。3 ヶ月前から排尿困難で近医を受診したところ、前立腺肥大症だろうと言われて投薬されたものの改善しないため、別の泌尿器科を標榜する開業医を受診しました。そこで前立腺生検を行った結果、前立腺癌と診断されたそうです。紹介状には、手術の可能性も含めて、精査をお願いします、と書かれていました。

あなた 「如賀さんは、ご自分の病状について前の先生からどのようにお聞きになっていますか」

如賀 「尿が出にくいのは前立腺癌のせいだって、手術したら治るって言ったよ」

あなた 「そうですか。前立腺癌の進み具合はどれくらいだと言っていましたか？初期癌とか、進行癌とか」

如賀 「いや、よく分からねーな」

あなた 「手術で治るって言っていたんですね」

如賀 「そうそう。おしっこが出にくいっつー以外は何も困っちゃねーから、大丈夫だろうって」

あなた 「なるほど」

如賀 「でもよう、オレも 70 越えちゃったし、本当は手術なんてやりたかねーんだよ。自分の体切り刻まれちゃうってのは、なんだかねえ」

あなた 「そうですか。それなら、前立腺癌の進み具合がどれくらいか、もうちょっと詳しく調べてみてから、手術するかどうか考えましょう」

如賀 「おう、頼むよ」

精査の結果、如賀さんは T2 ステージ（臨床病期 B1）の初期中分化前立腺癌であることが分かりました。あなたは、如賀さんが手術をした方がいいのかどうか、図書館で文献を調べてみることにしました。

第5期 pES club シナリオ 1 (追加シナリオ)

平成17年1月29日
虎の門病院分院 内科総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

如賀さんの自覚症状は排尿困難だけで、日中は3~4時間おき、夜間は2~3回トイレに行くそうです。それ以外には症状はありません。

如賀さんの前立腺癌は中分化腺癌で、Gleason scoreは7です。PSA（前立腺刺激抗原）は21ng/mlで、PS（performance status）は0です。

如賀さんは現在、2歳年下の妻と長男の家族（夫婦と息子2人、娘1人）と同居しています。長男夫婦は共働きで、如賀さんと奥さんは年金が収入源となっています。

如賀さんは、最初にかかった開業医から、前立腺肥大症の治療としてハルナール（0.2mg）1錠分1朝食後を処方されており、現在も服用を続けています。その他、高血圧と言われていますが、特に治療はしていません。4歳違いの兄も前立腺癌を持っていましたが、2年前に脳梗塞で亡くなったそうです。

検査結果を聞きに再来院した如賀さんに対してあなたは、「如賀さんの前立腺癌は前立腺の中だけに留まっているごく初期の癌で、転移などはありません」と説明しました。初期の癌ということで、如賀さんはそれほど深刻に受けて止めている感じはなく、あっけらかんとしています。